

第2回総合計画審議会 意見まとめ

	項目	意見	課題
理念	誇れるまち	他の理念は、取り組んだ結果のまちの姿であることはイメージできるが、「誇る」は町民の気持ちなので同列は違和感がある	
	進化するまち	DXには注釈が必要	
		「新しい視点」という言葉が曖昧 「暮らしの質」が理解しにくい	
将来像	人・自然・食	琴浦らしさがある	
		食が、人・自然と並列は違和感（食は捉え方が様々）	言葉の組み立て方を要検討
	幸せ	幸せは人によって違うので使うのはどうか	
		誰の幸せのためにやっているのか、立ち返ることができる	
	その他	わかりやすさが大事	
		キーワードが多い（人・自然・食・つなぐ・幸せ・まち・琴浦）	
		琴浦感が薄い わくわくする言葉がほしい	
	委員案	人が輝き、自然と食を育むまち	
		自然と食から豊かな人を創るまち、琴浦	
		食がつなぎ自然が育む次世代の人づくり、琴浦	
		食がつなぎ自然が育む次世代共生のまち、琴浦	
		自然と食から人を創るまち、琴浦	
		自然と食を進化させこれからの幸せを作るまち、琴浦	
自然と食を進化させ次の共生をするまち、琴浦			
輝き続ける惑星コトウラ			
政策・施策	(1) 新しい人の流れをつくりだす共生のまち	新しい人の流れはわかりにくいので、定住化に変えた方が理解しやすい。	
		町民主体の地域づくり、支え合いと共生のまちについて、住民が安心して暮らすために大事。具体的に何をどのようにするのか示してほしい。	
		住宅施策を押し出して人口減対策を行ってほしい	
		地域交通について、高齢化率が高くなる現状をどのような方法で切り開いていくのか住民一人一人が我が事として考える必要がある。	
	駅舎の活用と駅前の魅力化について、無人化になって町の玄関として寂しい。まなタンと合わせた形で活用できるように取り組みを。		
	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり	文化・芸術活動の振興について、具体的な施策を考える必要がある。文化芸術を親しむ場所、機会、日々の活動に必要な会場等課題は多い。	
		子どもたちが安心して学べる環境づくりについて、教室に入れない子の図書館、保健室登校という居場所づくり、今後取り組まれるコミュニティセンターを受入れ場所にする等、地域とのふれあいの中で育つさと愛を。	
		ICTを活用した個別最適な学びの提供について、家から出られない子もICT活用で学びを続けられたら。。孤立しないように学びも大切だが、関わりを止めないことも大切にしてほしい。	
	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり	理念に「自然と食」が出ているように琴浦町には農業や食でPRできるところがたくさんあるが、町内でも認知度が低い。もっとPRし、魅力を広めていく必要がある。「食」を強調した展開へ。（琴浦産品を使ったレシビの開発等）	
		雇用機会の少なさは町の課題。 魅力ある産業とは？「食」とリンクさせるのであれば、漁業、酪農などの取り組みがあった方がいいのでは。	
(6) 町民の声が届き、ともに創る未来のまちづくり	各分野の事業所等が連携して取り組めたら町の発展につながるのでは		
	職員が地域に根付かない理由をみつけ、改善が必要。「人材」を大切に育ててほしい。		
その他	具体的な取り組みに対して、今後具体案を提示していくことが大事。（こんなことをすると、こうなります）		
	どれも大事なことであるが、特に「これ」というものを決めて重点的に取り組むことも大事ではないか。他町との違いは何かははっきり示された方がモチベーションがある。		